

交換留学帰国報告書

記入月日: 令和4年6月1日

氏名: 奥村颯太

留学時所属&学年:

国際地域学部グローバルアプローチ専攻3年

留学先大学	クレムソン大学
留学先国	アメリカ合衆国
留学期間	1学期間
留学開始-終了日	2022年1月8日 - 2022年5月6日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

アメリカでの生活を一定の期間の間体験してみたかったこと

2. 留学を考え始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

高校生の時点で留学を念頭に置いた大学選びをしていた。準備として短期留学に何度か参加して英語力の向上を目指すこと大学1年時からしていた。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

アメリカに複数ある交換留学協定校の中でも日本人が少なく留学生にとって厳しい環境になるということでクレムソン大学を選んだ。福井大学からの留学生を含む過去の日本人留学生の留学体験記から情報収集をした。

4. 留学先大学から求められた語学力、留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

他の大学と比べて特別高い語学力を要件とする大学ではないが、留学中に受けられる日本語でのサポートは皆無なので1人での海外生活でも困らない程度の英語力は必要になると

思う。2019 年度入学時点の福井大学のカリキュラムでは TOEFL ITP の点数のみ必要とされるが念の為アメリカ留学でより一般的とされる TOEFL IBT も受験した。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

クレムソンは YouTube 上で毎年学生チームが大学紹介をしていてそれを見ることで留学中の生活をイメージすることができた。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

人気な授業の枠は先着順ですぐ埋まってしまうと思われるがちだが、履修登録期間は長く途中で履修科目を修正する学生も多いため、人気の講義もポータルをチェックしていると空きが出ている事も少なくなく、どの科目を履修するかよく吟味する時間もあるように思える。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 空港から滞在場所(アパート・寮など)までどのように移動しましたか。

(例: バスで移動した、ピックアップサービスがあった等))

大学が用意している空港からの無料シャトルバスを利用した。予約はすぐ埋まってしまうため注意が必要。フライトが遅れて Uber を利用することになった交換留学生もいた。

2. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

何をすることも自由な雰囲気。規模が大きい大学だが、学生・職員はみな家族だという教え? があり困ったことがあれば周りの人に遠慮なく助けを求めることができる。

3. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

充実した学生生活の為に必要な施設・サービスとして思いつくもの全てが揃っている、最高の環境。

4. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

クレムソン・ボーリングクラブ

部員数: 20~人

活動内容:

毎週日曜日夕方に大学のボーリング場でボーリングを 2 ゲームプレイ。その後メキシコ系ファ

ストフードチェーンの Moe's で食事。

クレムソン・セイリングクラブ

部員数:120 人～

活動内容: 大学敷地内の湖で曜日ごとに初心者・中級者・上級者・競技部門のレベル別に分かれてセイリングをする。パーティーも多く、学期に一度サークル全体の合宿がある。

クレムソン・スカイダイビングクラブ(※所属はしていないが紹介)

部員数:10～人

活動内容:

毎週末天気良ければ近辺のどこかの空港に数人が集まってジャンプする。每学期初心者がライセンス取得から1人でジャンプできるようになるまでのサポートをしている。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名):Elementary Spanish(Stephanie Morris)●時間数/週(単位数):50分×4(4単位)●クラスの学生数:約24名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>スペイン語の経験がない学生むけでスピーキング能力重視の授業。1年生の学生が多い授業ではあるがペアやグループで話す機会が多く友達作りやすい雰囲気。オンライン上の教科書に合わせて授業が進み、授業毎に同ウェブサイト課題に取り組む。この課題に加え、セクションごとのクイズ、学期後半のプレゼンとペアでの会話形式のテスト、中間・期末テストで成績が決まる。Extra Creditが多く、課題を期限までに毎回こなしておけば好成績を取ることは難しくない。</p>
2	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名):Introduction to Sociology (Shannon McDonough)●時間数/週(単位数):75分×2(3単位)●クラスの学生数:約80名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>社会学概論。完全講義形式で毎回授業後にCanvas上でその日の授業で扱われた内容のクイズをやるのが出席点になる。自分で仮に社会学の研究を行ってみるというテーマのレポート課題と2セクションごとのCanvas上でのクイズ、中間・期末テストで成績が決まる。全てのクイズ・テストは資料参照可能で学生の判断で期末テスト免除</p>

	にできる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): Why Business?(Lawrence Watson) ●時間数/週(単位数): 75分×2 (3単位) ●クラスの学生数: 約50名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>社会の中での市場原理やビジネスの役割について考える授業。グループワークは少ないが双方向型の授業になることが多い。リーディング量はかなり多く、特に教科書からのリーディングは内容も難しい。セクションごとにリーディング課題に対する自分の意見を述べる作文の課題がある。中間・期末テストに加え最終レポート課題もあるが学生の判断で期末テストは免除にできる。来学期(2023秋)から授業内容をアップデートするとの事。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): Sustainability Leadership(Jennifer Goree) ●時間数/週(単位数): 75分×2 (3単位) ●クラスの学生数: 約30名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>気候変動などの環境問題とそれに対処する上で必要になるリーダーシップについて考える授業。福井大学の Social Justice Issues の授業に近い内容もあり critical thinking skill が重視される。プレゼン課題や5、6人のグループで学生が1日の授業を作る課題があるなどグループワークも豊富。リーディング量は回によってまちまち。学生が意見を言う場面が非常に多く、特に異なるバックグラウンドがある留学生は存在感を発揮しやすい。最終レポートを含む作文やクイズの課題はそこまで難しい。学生の判断で期末テストは免除にできる。</p>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

毎日どこかで必ず発言することは意識していた。わからない単語はすぐ調べられるように Weblio 辞書の画面を常にかいておくようにしていた。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

学習面で困ることは特になかった。不安なことは周りの学生に聞くようにしていた。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

日本と同様で授業によってスタイルは違っていた。様々な授業を選択できる GCS のカリキュ

ラムのおかげでスムーズに適應できたように感じる。授業で動画を流す場合は必ず英語字幕が入るのがいいなーと思った。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

Why Business?と Sustainability Leadership は特におすすめできます。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(4)人部屋
寮・アパート名	The Pier at Clemson - Flats
家賃に含まれた費用	<input type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他(ジム・プール利用料)
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 (テレビはだいたいルームメイトの誰かが共有スペースに置いていると思います。)
共用設備	リビング、キッチン、冷蔵庫、電子レンジは共用。 付近では 1 番安いアパートですが設備・環境は平均以上だと思います。

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

スーパーは大学から無料シャトルバス圏内に 3 箇所。自転車でもキャンパスから 10 分くらいです。バスを乗り継げば大規模な Walmart にも行けます。学生の町なので飲食店は充実しています。日本食レストランは Osaka より Tokyo がおすすめです。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

日本のクレジット・デビット 1 枚ずつで生活していました。留学中盤以降円安が悪化する一方だったので現地口座を開いておけばよかったかなとも思います。現金はいらないです。支出はスマホで管理していました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

海外 Sim は日本で契約して空港到着時から使えるようにしておきましょう。インターネットさえあれば大抵のことはなんとかできます。昼夜の寒暖差が激しく夜は冷え込むことが多いです。生活するだけなら服や靴はそんなにいらないます。

5. 留学にかかる必要経費について、日本円での金額を教えてください。
(現地通貨=USドル)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	26 万円	予防接種・ビザ代	7 万円
保険代	35 万円	教科書代	2 万円
家賃	(月額)6 万円 × (留学月数) 5 ヶ月 = 30 万円		
食費	(月額)4 万円 × (留学月数) 5 ヶ月 = 20 万円		
娯楽費(旅行・交際費・雑費など)	(月額)2 万円 × (留学月数) 5 ヶ月 = 10 万円		

合計:(130 万円)

6. 奨学金について教えてください。

奨学金の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
奨学金の名称	福井大学学生海外派遣支援金 福井県グローバル人材基金海外留学支援奨学金
総支給額	47 万円
その他(渡航費・準備金等)	

7. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

自分の中で特に気をつけていたことはありませんが、あまり他人の働きに期待しない方がいいとは思っています。

8. 留学先の治安はどうでしたか。

クレムソン近辺は安全だと思います。

9. 留学中に就職活動をしましたか。その場合、どんなことをしましたか。

していません。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

学内に診療所があり、近くに救急外来がある病院も複数あります。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

一度病院に行きましたが負担金はありませんでした。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

クレムソン大学が指定する予防接種を受ける必要がありました。日本で受けられないものについては渡航後に大学の診療所で受けられるようにしてもらいました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前に設定した目標は概ね達成できました。語学面では日本人がおらず全ての場面で英語を使わなければいけないクレムソン大学の環境を最大限に生かし、積極的かつ主体的に行動することでスピーキング能力・コミュニケーション能力を向上させることができたと感じています。知り合いも母国語が通じる人もいないと言う環境で大きな問題もなく留学生活を送ることができたと言うことはかなり自信になりました。

授業からは、福井大学で学ぶことのできない環境問題やビジネス、第3言語分野についての知識を増やし教養を深めると同時に、一般に学習への意欲が高いと言われるアメリカ人学生の学びに対する姿勢に刺激され最終的に高い成績を残すことができました。特に自分は以前までグループワークや他人に頼ることを苦手としていましたが、留学中にマイノリティで自分1人では何もできない社会的弱者の立場になったことで、自分ができないことを認め他者と意見をすり合わせながら問題の解決を目指すという経験を積むことができ、社会人としての素養

を獲得する経験になったと思います。

また、パンデミックの影響で当初考えていた2学期間の交換留学派遣が1学期間に短縮されてしまいましたが、これがかえって限られた時間を最大限に生かそうとする意識に繋がっており、自分がこれまで苦手としていた計画性やタイムマネジメントといった面での成長も感じています。

留学を経ての自分の中で最も大きな変化は自分との向き合い方です。僕の目に映るアメリカの学生は他人を気にすることもなく自分の好きなこと・やりたいことだけをとことん追求しているようでした。そんな人たちに囲まれての生活は僕がこれから何をしたいのか、どう在りたいのかを考えるきっかけになりました。留学を通して外から見た自分が何か大きく変わったということはないと思いますが、自分の中で自分が自分らしくいることに対する不安が減り、より自然体でいられるようになったと感じています。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

強いて言うなら大学近辺のバーに行ってもっと友達を作りたいかったですがお金の面で厳しかったと思います。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

結局できず仕舞いに終わったスカイダイビングにアメリカの友達が日本に来たときに一緒に挑戦するのが当面の目標です。現在、留学前にインターンシップに参加していた企業の最終面接の準備をしています。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

クレムソン大学は規模がとても大きく、自分の興味だけでなく、住む場所、受ける授業、入会するクラブ、そしてそこで出会う人によって十人十色の留学生活が送れる場所です。さらにクレムソンは湖と森と牧場に囲まれた本当に大学以外何も無いところで、そんな場所だからこそ日本人や日本の文化から距離を置いて英語やアメリカ文化を経験するにはぴったりの環境です。日本語が使えない分苦労やトラブルに悩まされることも人一倍多くなる留学先ですが、留学が終わればきっとそれを乗り越えたという自信を得ることができます。これを読んだ皆さんが留学先にクレムソンを選んでくれると嬉しいです。
LET'S GO TIGERS!!